



あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願ひ申し上げます。



昨年はこちらで痛ましい自然災害がありましたが、株式会社ニーノコーポレーションでは大きな事故もなく過ごすことができ、ほっと胸をなで下ろしております。昨年もたくさんのボランティアの皆様や地域の役員様に訪問して頂きました。自宅を離れ介護施設に入所されたりしますと、社会とのつながりが希薄になりがちです。ボランティアの方々による文化的な活動や会話などがご本人を取り戻す良い機会となります。地域の役員様や知人友人の方が訪問してくださった時はごく自然な会話を交わされておられ、そんな利用者様の姿を見るたびうれしい気持ちになります。

もう一つうれしいことがありました。昨年を以て勤続年数10年以上になるスタッフが10名となり、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修の受講や、介護福祉士資格取得などスタッフのキャリアアップも順調に進んでおります。今後ますます求められる認知症介護の専門性を高め、地域の皆様のお役に立てるように法人あげて頑張っていきたいと思います。本年もますますのご支援の程をお願い申し上げます。

株式会社ニーノコーポレーション 代表取締役 二之湯 つぎ子



認知症介護実践者研修を終えて②

約1ヶ月半の間、色々な事、思いを体験しました。講義にて多くの話を聞くことができました。自ら考えたことを発表・グループで話し合うことなど、苦手なことをしなければならず、逃げ出したくもなりましたが、知らないうちに初めて会う方達と楽しく意見を出し合っている自分がいました。

今でも心に残っていることは「その方の生活歴を知る」ということです。その方の歩んできた人生を知ることです。まずそこから始めたいと思います。

はなえくぼひくみ1階介護職員 A・J

認知症介護について

食事を終えられたAさんにスタッフが「Aさん、ご飯終わったから歯みがきしましょう」と声をかけると、Aさんは「私、まだご飯食べてないよ」とおっしゃいます。こんな時、スタッフが「今食べたばかりでしょ」と言ってしまうとAさんはどんな気持ちになるでしょう。Aさんを否定して正しいことを伝えるのではなく、「今炊飯器のスイッチを入れました。これから食事の支度をしますのね」など、Aさんの望むことばを選びお話しすると、Aさんは心穏やかになります。

否定されるイライラや不安がなくなれば、利用者様は穏やかな気持ちになり、スタッフとの間に良好な関係を築くことができるのではないのでしょうか。

認知症の人は、食事や着替え、トイレ、入浴に時間がかかり、日常生活の動作一つひとつがゆっくりなペースです。スタッフが急がせてしまうような態度をとると、利用者様はスタッフを「うるさい人、怖い人」と感じ、ますます話を聞いてくれなくなります。焦らず利用者様のペースに合わせる事が大切です。

利用者様との間に良い関係を築き、利用者様に「自分は周りの人から認められている」「ここは安心できる場所だ」と感じて生活して頂けるような介護をめざしていきたいです。

はなえくぼひくみ1階介護職員 H・A

最後の「ありがとう」

先日、93歳で人生に幕を下ろされた利用者様がおられます。その方は、はなえくぼに入所され、五郎丸、ひくみで4年ほどを過ごされました。亡くなる前日まで、他の利用者様と一緒に食事もされ、お好きなコーヒーも飲んでおられたのに・・・あまりにも突然でした。

朝熱発され、主治医の指示のもと様子を見ていたその夜でした。夜勤スタッフが急変に気づき、声をかけていると「ありがとう」と何度も言われたそうです。

介助困難な状況が多々あり、管理者の立場から見て、ご本人はもちろんスタッフもとてもたいへんだったと思います。

そんなスタッフへの感謝の気持ちを、最後の力をふりしぼって伝えてくださったのだと思わずにいられません。

心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族の皆様にお礼申し上げます。

はなえくぼひくみ管理者 大村 範子

おねがい

平成27年3月に各ホームで『認知症サポーター養成講座』を開催します。日程が決まり次第ご案内させていただきますので、どうぞご参加ください。



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小杵町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています